

第1日 1月29日(金) 2部

5 児童・生徒指導部会	部会テーマ	子どもが行きたくなる学校 ～一人一人を大切に～			
内 容	いじめ、不登校などの未然防止には、学校が子どもにとって魅力的な場所であることが不可欠である。子どもが安心できる環境をつくったり、一人一人についての理解をより深めたりするためにはどのような取組をしていけばよいのかを考える機会を提供する。				
企画・会場係	総合教育センター	揖斐 俊博	記 録 係	総合教育センター	澁谷 景子
受 付 係	総合教育センター	飯村 伸子	機 器 係	総合教育センター	大山 晃
機 器 係	総合教育センター	赤堀 雅史			

実践発表①

魅力ある学校づくり

～児童生徒が通い続けたい学校～

真岡市教育委員会事務局学校教育課指導係 保坂 一哉
真岡市立真岡中学校 齊藤由美子

不登校は、前年度から継続している児童生徒に新たな不登校が生じることで増加していく。児童生徒の声を反映させながら魅力ある学校をつくり、新たな不登校を抑制しようとする未然防止の取組を発表する。

発表

児童生徒への適切な指導のために

～子どもの理解を深める～

総合教育センター教育相談部 細井三知代

子どもへの適切な指導を行う上で、その基盤となるのは、子ども一人一人の理解を深めることである。令和元年度に発行した指導資料を用いて、子どもの理解を深めるためのヒントについて発表する。

実践発表②

一人一人に寄り添った指導・支援を目指して

～協働的な組織の構築～

鹿沼市立みなみ小学校 大塚 篤

児童理解をより深めるには、一人一人を多面的に捉えながら、言動の背景・要因を「～なのではないか」と想像することが大切だと考える。今回は、背景・要因を探るための協働的な取組や、その工夫について発表する。